

2021.11.17(水) 向霧立越調査③汗見～遠見山登山口

山都町鮎の瀬大橋から東 5 km程の木原谷集落を経て汗見地区から遠見山登山口付近までの調査を実施。参加者 3 名

鮎の瀬大橋 6:45、打ち合わせ後 7:05 出発、木原谷への県道が上菅の先で工事中通行止め、う回路もなくやむなく白糸第二小先の道端に車を置いて歩くことになる。白谷川、白谷宮＝菅村阿蘇神社を見て、8:25 木原谷集落交差点の公民館(管理は区長の渡辺直さん、090-9796-9461、0967-82-2532)を確認、たまたま出会った婦人に話を聞くと汗見には 4 軒あって今は 1 軒しか住んでいないという。右折して汗見へ向かう。舗装された車道に竹林、桧林、杉林が迫る、白谷川を左岸に渡り、再び右岸に渡る汗見橋の袂で小休止 10 分。9:34 汗見集落、といっても見えるのは 2 軒、人の姿はない。舗装の車道はここまで。右に沢を見ながら 9:35 左手の杉林の山に入る。踏み跡さえもはっきりしない。沢沿いにしばらく進む。杉林の中、勾配はかなり急である。牛馬は無理のような感じ。10:00 重機で押したような跡、下にはマツカゼソウのみ、800m地点、また同様の道らしき跡、10:20 829m少し右へ、10:30 土砂崩れ跡、左折するとまた同じような道らしき跡、その先を詰めると上方に林道のガードレールが見え、杉の造林の中をジグザグに辿ると前回通った舗装した林道に出て 10:57 小休止。GPS で前回車のデポ地点近くであることを確認、11:10 出発して林道を 300mほど下り、(前回途中で引き返した)左手の尾根に上がることにして 11:19 尾根にとりつく。少し急こう配、しばらく上がると尾根筋に赤松の大木、11:40。この後は緩やかな登り、11:47 前回引き返した鞍部 1050m地点、大休止昼食。この先、遠見山登山口までは前回歩いているので 12:28 下山開始、地形図にある破線の道を辿ろうと下るが、道はない。林道に出る直前はやはり急こう配の下り、しかし赤テープがあり人が通った形跡はある。14:05 林道に出る。この付近、かつて古道があったとすればこの林道工事のためそれが切断されたのではと思われる。林道から往路の山道に入り往路を辿って下るが、途中から往路から外れわからなくなり、急傾斜の杉林の中を下り、やっと 14:10 汗見の民家の前に出て小休止。14:23 出発、汗見橋手前から地形図の破線の近道に入ったが、次第に道は消え、最後はクマイチゴの棘に苦しみながら下るとやっと下の橋の袂に出た。あとは木原谷部落に戻り、15:30 白谷川白谷橋・菅村阿蘇神社＝白谷宮前そして工事現場を通り 15:50 上菅上の駐車地点着、16:00 頃鮎の瀬大橋着、16:20 頃解散。

汗見までは車道があり問題ない。一応、汗見～遠見山登山口間を通して歩き繋ぐことはできたが、踏み跡は判然としない、急傾斜が多く古道として使われていたかどうか、急斜面をジグザグに切れば可能かもしれないが、一般の登山道として推奨できるルートではない。

白谷宮=菅村阿蘇神社(菅～木原谷間にある)



木原谷部落



汗見入り口



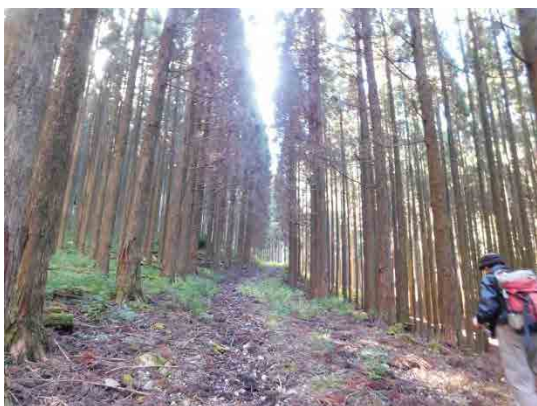
汗見の人家



汗見から山道に入る



汗見～林道間の歩道らしき跡を登る



上の林道に出る



林道から上の尾根への取り付き地点



林道から上の尾根を登り詰めたピークの赤末

